JIS

鉍石一分析方法通則

JIS M 8120 : 2023

(JMIA/JSA)

令和 5 年 12 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	伊藤 真 二	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社鴻池組)
	岩崎 央	ステンレス協会 (日鉄ステンレス株式会社)
	上原 実	一般社団法人日本産業機械工業会
	片山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	河村 能 人	一般社団法人日本マグネシウム協会 (国立大学法人熊本大学)
	倉本 繁	国立大学法人茨城大学 (一般社団法人日本アルミニウム協会)
	栗田 智 久	一般社団法人日本電機工業会
	越川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	下鍋 達 也	公益社団法人自動車技術会 (ダイハツ株式会社)
	須山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会 (東芝エネルギーシステムズ株式会社)
	廣本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	水沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山口 富 子	国立大学法人九州工業大学
	吉田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 5.12.20

官 報 掲 載 日：令和 5.12.20

原 案 作 成 者：日本鋳業協会

(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11 榮葉ビル TEL 03-5280-2327)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会 (委員長 木村 一弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般事項	5
5 分析に用いる試薬, ガス, 水, 器具及び計測器	5
5.1 試薬	5
5.2 ガス	5
5.3 水	6
5.4 器具	6
5.5 計測器	6
6 試料の採取, 調製, 取扱い及びはかり方	6
6.1 試料の採取, 調製及び取扱い	6
6.2 分析試料のはかり方	6
7 分析値のまとめ方	7
7.1 分析回数	7
7.2 分析値の表し方	7
8 定量方法	8
8.1 一般	8
8.2 滴定法	8
8.3 原子吸光分析法	8
8.4 ICP 発光分光分析法	8
9 安全衛生	9
9.1 一般	9
9.2 試薬などの取扱い	10
9.3 器具及び設備の取扱い	10
9.4 分析装置の取扱い	10
附属書 A (規定) 分析用試料の吸着水分の測定方法	11
附属書 B (規定) 酸化するおそれがある分析用試料の吸着水分の測定方法	13
解 説	16

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本鉱業協会（JMIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鉍石—分析方法通則

Ores—General rules for chemical analysis

1 適用範囲

この規格は、非鉄金属鉍石（以下、鉍石という。）の各成分定量方法及び分析方法の規格における鉍石の買鉍対象成分及びペナルティー成分の分析方法に関する一般事項について規定する。ただし、他の日本産業規格に分析方法通則が規定されている鉍石には、適用しない。

なお、この規格における鉍石は、主に金、銀、銅、亜鉛、鉛、ニッケル、コバルト及びタングステンの製錬によって製造される金属（副産物も含む。）の原料となる精鉍、硫化鉍、酸化鉍、焼鉍などの鉍石をいう。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0113 電位差・電流・電量・カールフィッシャー滴定方法通則
- JIS K 0115 吸光光度分析通則
- JIS K 0116 発光分光分析通則
- JIS K 0121 原子吸光分析通則
- JIS K 0122 イオン電極測定方法通則
- JIS K 0127 イオンクロマトグラフィー通則
- JIS K 0133 誘導結合プラズマ質量分析通則
- JIS K 0211 分析化学用語（基礎部門）
- JIS K 0212 分析化学用語（光学部門）
- JIS K 0215 分析化学用語（分析機器部門）
- JIS K 0557 用水・排水の試験に用いる水
- JIS K 1105 アルゴン
- JIS K 8001 試薬試験方法通則
- JIS M 0102 鉍山用語
- JIS M 8083 銅、鉛及び亜鉛硫化精鉍—サンプリング及び水分決定方法
- JIS M 8100 粉塊混合物—サンプリング方法通則
- JIS R 1301 化学分析用磁器るつぼ